

## (5) 地域における子どもの居場所づくり ～笑顔になれる、ぼくとわたしの快適空間～

### 現状・課題

- 少子化が進み、地域との関わりが薄れる現在、子どもが有のままの自分を表現し、安心して過ごすことのできる場所、社会性を育むことのできる場所をつくっていくことの重要性が増しています。
- 子どもの居場所は、子どもが「気軽に」「いつでも」「だれでも」立ち寄ることのできる場所であることが必要です。また、大人の一方的な思いにならないよう、子どもを中心に据えて取り組むことが必要です。
- 子どもの居場所には、子どもの遊びの能力を引き出す大人、将来の手本となる大人、心のよりどころとなる大人の存在が欠かせません。大学生や高齢者など、子どもの成長を促すためには、多世代との交流の場づくりが必要です。
- 地域の子どもの居場所となる「子ども食堂」の取り組みは、市内で急速に広がりを見せています。

### 方向性

- 子どもにとって生活の主要な部分を占める遊びや社会体験、様々な人と交流できる、子どもに開かれた「居場所づくり」を進めます。
- 大人から居場所を与えられるという枠を越え、子どもがその場を自分の場所にしていくという主体的な営みが形成されるよう留意しながら取り組みます。
- 子どもの居場所づくりは、子どもを接点とした新たな地域づくりの萌芽となり得ます。子どもの居場所が、多世代交流の場となるよう取り組みます。また、将来的には、虐待を含め、気になる子どもや家庭に必要な支援につなぐプラットフォームとして機能することを目指します。
- 「居場所」で過ごした子ども達が、その後、先輩として、頼れる大人として、自発的にその居場所を支える存在となっていく自然なサイクルが生まれるよう、地域団体やNPO等とも協働し、取り組みを進めます。

● すべての子どもが、自然と足を向けることのできる、楽しく魅力ある居場所を、地域の中に多く生み出せるよう、地域の人々の力を借りながら取り組んでいきます。「子ども食堂」は、その代表的な取り組みであり、今後さらに力を入れていきます。

### 主な取り組み

#### ①子どもの遊び環境の充実

##### ■子どもの館・子育てふれあい交流プラザ

〔総務企画課〕

#### ○子どもの館HOW!?

「子どもの遊び場の確保」「子育て中の親の支援」「親子のふれあいの場」「中高生の遊び場、活動の場」の4つの機能を提供して、豊かな感性と新しい感覚を持った子どもを育むことを目的に整備された施設です。

さまざまなイベントを行ったり、コーナーや設備を工夫したりして、幅広い年齢の子どもたちが楽しめるとともに、毎月定期的に「子育て相談」や「各種教室」を開催するなど、子育て支援にも取り組んでいます。

所在地 八幡西区黒崎3-15-3 COM CITY1・7階

#### ◆利用状況

年度	年間入館者数
29	809,090人
30	814,352人
元	670,747人
2	158,493人
3	251,912人

#### ◆満足度

年度	年間入館者数
29	99.6%
30	99.7%
元	95.2%
2	99.5%
3	99.6%

資料：施設の利用者へのアンケート調査

## ○子育てふれあい交流プラザ“元気のもり”

0歳から就学前の親子や妊産婦の方を対象に、遊び場、育児相談、親子・市民活動団体の情報交換や交流が図れる広場（フォーラム）を提供することで、子どもの感性を育み、子育て中の親が持つ負担・不安感を解消し、地域の子育てを支援する活動の活性化を目的とした、総合的な子育て支援拠点施設です。  
所在地 小倉北区浅野3-8-1 AIMビル3階

### ◆入館者数

年度	年間入館者数
29	424,986人
30	442,451人
元	379,244人
2	67,328人
3	89,469人

### ◆満足度

年度	満足度
29	99.8%
30	99.8%
元	99.9%
2	—
3	100%

資料：施設の利用者へのアンケート調査  
※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により調査未実施

## ■児童館〔子育て支援課〕

児童館は、子どもたちに健全な遊びを提供して、その健康と情操を豊かにすることを目的とした屋内型の児童厚生施設です。

18歳未満の児童と保護者、子ども会や母親クラブなど児童館活動にご協力くださるボランティアの方が利用できます。市内に39館あり、放課後児童クラブも設置しています（一部除く）。

### ◆利用状況

年度	延べ利用者数
29	627,127人
30	637,106人
元	561,263人
2	332,432人
3	388,369人



### ◆満足度

年度	満足度
29	90.8%
30	94.2%
元	92.6%
2	93.5%
3	94.1%

資料：施設の利用者へのアンケート調査

## ■地域に役立つ公園づくり事業

〔建設局みどり・公園整備課〕

身近な公園の再整備について、小学校区単位で開催するワークショップで計画段階から地域住民の意見を聞き、地域ニーズを反映した整備を行うことで、これまで以上に利用される公園を目指します。

### ◆子どもの遊び場や公園に対する満足度

年度	満足度
29	52.1%
30	52.2%
元	56.1%
2	58.6%
3	61.6%

資料：「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」に関する市民アンケート調査（平成28～令和元年度）  
「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」に関する市民アンケート調査（令和2年～令和3年度）

## ■緑地保育センター〔保育課〕

緑と太陽のもとで遊びを中心とした保育を行い、豊かな自然の中で宿泊体験や集団生活を通じて、幼児の創造性・自主性・協調性を養い、21世紀を担う心豊かで健康な子どもを育成するための児童厚生施設です。

### ●施設概要

	第1緑地保育センター おひさまのいえ	第2緑地保育センター もりのいえ
所在地	若松区 大字竹並 925-1	小倉南区 大字長野 530-3
延床面積	544.25 m <sup>2</sup>	1,159.71 m <sup>2</sup>
宿泊定員	100人	100人

### ◆利用状況

年度	第1緑地保育センター おひさまのいえ		第2緑地保育センター もりのいえ	
	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
29	3,870人	7,481人	5,334人	6,547人
30	3,526人	7,485人	5,052人	5,578人
元	3,329人	7,361人	4,984人	5,175人
2	—	3,209人	—	4,940人
3	—	3,228人	—	4,115人

※令和3年度以降は新型コロナウイルス感染症防止のため宿泊保育は中止



## ②地域団体、NPO との協働等による子どもが主役の居場所づくり

### ■子ども食堂〔子育て支援課〕

北九州市の子ども食堂は、孤食の防止や地域の子どもと大人が安心して過ごすことのできる居場所として、地域や民間の方が主体となって市内45カ所（令和4年6月1日現在）で実施され、地域のニーズに沿った形で運営されています。

子ども食堂の継続した運営や開設数増加に繋げるため、開設支援や運営支援等の補助金に加え、子ども食堂コーディネーターによる相談対応等を実施しています。

また、企業や大学等と連携し、「オール北九州」で子ども食堂をサポートする体制を構築しています。

### ◆市内における子ども食堂の開設数

年度	満足度
29	8カ所
30	20カ所
元	30カ所
2	35カ所
3	45カ所

### ■遊びの広場促進事業〔青少年課〕

異年齢集団での活動や自然体験など各種体験活動を促進し、子ども会をはじめとした青少年団体等の活動の活性化を図るため、市内の団体・グループが子どものために行う事業の中から、地域の特色を生かした活動など、他のグループの参考になる事業に対して支援を行っています。



- 活動に対する補助金の交付（上限20万円）
- ユニークな活動事例の紹介

### ◆助成状況

年度	助成件数	助成額
29	7件	891千円
30	7件	600千円
元	7件	521千円
2	6件	356千円
3	4件	248千円

### ◆保護者がより力を入れてほしい子育て支援策（抜粋）

区分	内容
就学前児童	・子育て家庭が利用しやすい公園や子育て支援施設等(55.4%)
小学生	・いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設(59.5%)
中学・高校生	・いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設(38.4)

資料：北九州市子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査（平成30年度）  
注：複数回答

### ◆子どもが希望する子育て支援策（抜粋）

区分	内容
小学生(高学年)	・いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設(56.1%)
中学・高校生	・いつでも安全・安心に過ごせる公園や施設(29.9%)

資料：北九州市子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査（平成30年度）  
注：複数回答

### ◆子ども(小学生)の地域とのつながり

区分	よくある	たまにある	ほとんどない	まったくない	まったく無い
近隣の大人とのコミュニケーション	26.9%	48.0%	19.2%	3.1%	2.8%
異年齢の子どもとの日常活動	38.8%	39.3%	16.5%	3.8%	1.6%

資料：北九州市子ども・子育て支援に関する市民アンケート調査（平成30年度）